

最近、朝起きられないお子さんが増えているそうです。朝起きられないとだんだん学校へも行かなくなり、不登校が始まります。不登校といえ、イジメ」と結びつけやすいです。確かに「イジメ」や「受験」などは大きなストレスの要因になります。そのストレスに打ち勝つ「気力」を失ってしまふところ本来の問題があると考えます。こういったお子さんは、起立性調節

Vol.107

院長 関の

Face to Face

2017年 5月 1日発行

「起立性調節傷害」って何？



傷害」と診断されることが多いようです。思春期に不安定になりやすい自律神経が、様々なストレスで更に狂ってしまい、朝起きられない、立ちくらみ、全身倦怠感、食欲不振、失神発作、動機、頭痛、めまい、寝付けない、眠れない、集中力の低下など辛い症状で悩まされます。簡単に言うと交感神経と副交感神経の切り替えが上手くいかなくなるという

ことです。お母さんたちは心的ストレスを取り除くことに注目しがちですが、同時に「身体のストレス、つまり自律神経失調状態」を取り除くことが大切です。自律神経を整えるには、鍼灸やマツサージ治療が大変効果を発揮します。数回の治療で劇的に聞くことが多いのがお子様の特徴です。わずか一回の治療で治った例もあります。私達は、自律神経を整える為の生活習慣もアドバイスいたします。身体が良くなれば心も前向きになります。是非ためらわず、お子様にも鍼灸マツサージ治療をお試しく下さい。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの Face to Face は、患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘うことを願ってつけた